

経営比較分析表（令和6年度決算）

愛知県 美浜町

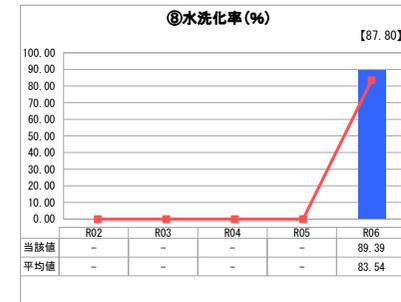
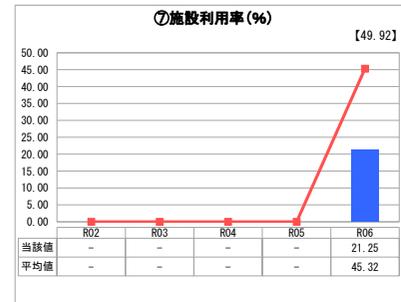
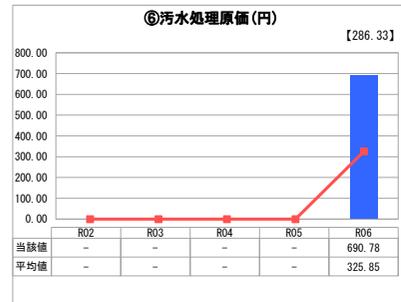
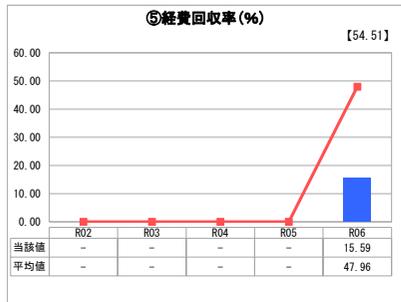
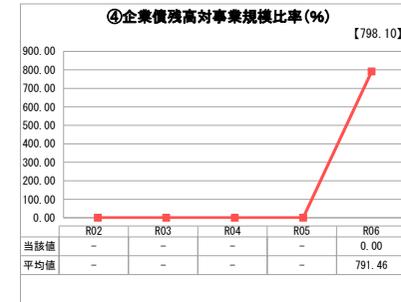
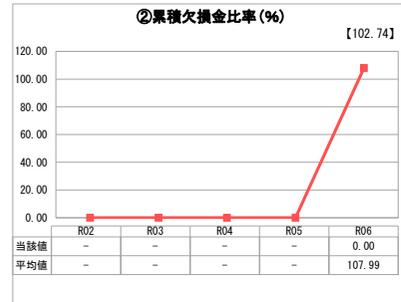
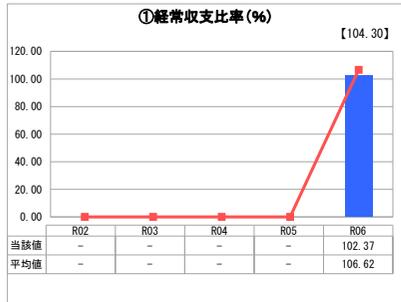
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	91.37	0.88	75.18	2,120

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
20,560	46.20	445.02
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
179	0.15	1,193.33

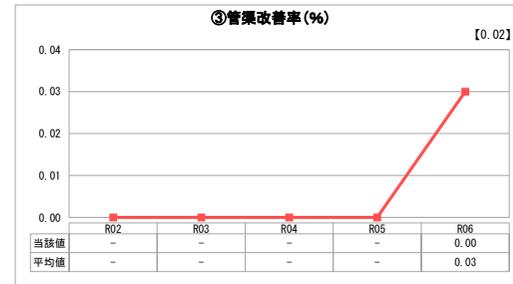
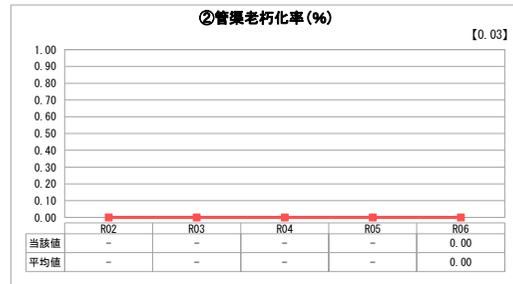
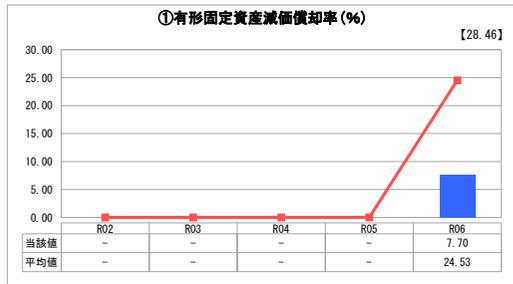
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

※令和6年度から法適用をしたため、前年度比較はできません。

① 経常収支比率は100%を超えていますが、これは一般会計からの繰入金要因です。処理区域内の流入人口及び定住人口の減少により使用料収入が減少傾向にあります。

② 流動比率は100%を下回っておりますが、短期的な債務の支払いを一般会計繰入金によって賄っている状況です。

③ 経費回収率は、処理場等の維持管理費に対し、区域内の流入人口や定住人口の減少により使用料収入が十分に確保できていない状況です。

④ 汚水処理原価は、ポンプ施設の老朽化により機器更新費用が増加したため、平均値より高い状況であります。

⑤ 施設利用率は、平均値に対し約2分の1ですが、これは、処理区域の特徴として、夏期における海水浴客を見込んだ処理計画とありますが、計画時と比べ近年は海水浴客が減少し、区域内の定住人口も減少傾向にあり、現状に見合った処理施設の規模になってきている状況です。

⑥ 水洗化率は平均値を上回っています。

2. 老朽化の状況について

本町の農業集落排水の供用開始は平成8年であり、法定耐用年数を経過したが管渠はなく、有形固定資産減価償却率も平均値より低い状況であります。電気設備等法定耐用年数を迎える機器を迎えた機器については随時更新工事等を実施してまいります。

全体総括

経営の健全性・効率性については、区域内の流入人口や定住人口の減少による農業集落排水使用料の減少や老朽化等による維持管理費や更新費用の増加が今後予想されます。

今後は使用料収入の確保と事業運営の効率化による総コストの縮減に努め、一般会計繰入金を抑えられるような取り組みが必要です。令和2年度に策定済みである経営戦略は令和8年度から見直しを進めていく予定です。

老朽化の状況については、今後処理施設の耐用年数の経過していくことを踏まえて、計画的な老朽化対策を実施していく必要があります。

また、本町では法定耐用年数を経過した管渠はありませんが、近年老朽化した下水道管破損が原因とみられる道路陥没事故が全国で発生している状況を踏まえ、管渠についても老朽化対策を検討していく必要があります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。